

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**グンゼ綾部メディカル新工場**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.32</b>				<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.8</b>	<b>0.15</b>				<b>2.8</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	<b>0.40</b>				
1.2 遮音				<b>2.6</b>	<b>0.40</b>				
1 開口部遮音性能		D=50		<b>1.0</b>	<b>0.60</b>				
2 界壁遮音性能				<b>5.0</b>	<b>0.40</b>				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>				
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.0</b>	<b>0.35</b>				<b>3.0</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>				
1 室温				<b>3.0</b>	<b>0.38</b>				
2 外皮性能				<b>3.0</b>	<b>0.25</b>				
3 ソーン別制御性				<b>3.0</b>	<b>0.38</b>				
2.2 湿度制御				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>				
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>				
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.9</b>	<b>0.25</b>				<b>2.9</b>
3.1 昼光利用				<b>2.4</b>	<b>0.30</b>				
1 昼光率				<b>2.0</b>	<b>0.60</b>				
2 方位別開口									
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	<b>0.40</b>				
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>				
1 昼光制御				<b>3.0</b>	<b>1.00</b>				
3.3 照度		全般照明方式を用い、作業場は500LXを基準としている		<b>4.0</b>	<b>0.15</b>				
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	<b>0.25</b>				
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.0</b>	<b>0.25</b>				<b>3.0</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>				
1 化学汚染物質				<b>3.0</b>	<b>1.00</b>				
4.2 換気				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>				
1 換気量				<b>3.0</b>	<b>0.33</b>				
2 自然換気性能				<b>3.0</b>	<b>0.33</b>				
3 取り入れ外気への配慮				<b>3.0</b>	<b>0.33</b>				
4.3 運用管理				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>				
1 CO <sub>2</sub> の監視				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>				
2 喫煙の制御				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>				
<b>Q2 サービス性能</b>					<b>0.30</b>				<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.3</b>	<b>0.40</b>				<b>2.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>1.6</b>	<b>0.40</b>				
1 広さ・収納性				<b>1.0</b>	<b>0.33</b>				
2 高度情報通信設備対応				<b>1.0</b>	<b>0.33</b>				
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	<b>0.33</b>				
1.2 心理性・快適性				<b>2.6</b>	<b>0.30</b>				
1 広さ感・景観		天井高は3mあり、十分な屋外の情報を得られる窓がある		<b>5.0</b>	<b>0.33</b>				
2 リフレッシュスペース				<b>2.0</b>	<b>0.33</b>				
3 内装計画				<b>1.0</b>	<b>0.33</b>				
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>				
1 維持管理に配慮した設計				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>				
2 維持管理用機能の確保				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>				
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	<b>0.30</b>				<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	<b>0.80</b>				
2 免震・制震・制振性能				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>				
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>2.8</b>	<b>0.30</b>				
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>2.0</b>	<b>0.20</b>				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>3.0</b>	<b>0.10</b>				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	<b>0.10</b>				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>				
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>				
2.4 信頼性				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>				
1 空調・換気設備				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>				
2 給排水・衛生設備				<b>2.0</b>	<b>0.20</b>				
3 電気設備				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>				
4 機械・配管支持方法				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>				
5 通信・情報設備		光ケーブル・メタルケーブルを引き込む		<b>4.0</b>	<b>0.20</b>				

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	
1 階高のゆとり		階高は4.5m以上	5.0	0.60	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率: 0.113	4.0	0.40	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI] = 0.67	5.0	0.04	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.72	3.8	0.60	-	3.8
4 効率的運用			3.0	0.24	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	
集合住宅の評価			-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.4
1 水資源保護			3.0	0.20	-	3.0
1.1 節水			3.0	1.00	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		玄関の床に陶磁器タイル、WC等の床にビニル床材	4.0	0.22	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS工法、フリーアクセスフロアの採用	5.0	0.22	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	
1 消火剤			-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率: 80%	3.7	0.33	-	3.7
2 地域環境への配慮			2.7	0.33	-	2.7
2.1 大気汚染防止			-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.67	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.33	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	
1 騒音			-	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	
3 悪臭			3.0	0.50	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		照明の設置位置を考慮し、必要以上に広くしていない。	4.0	0.70	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	